



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 株式会社ジェーシー・コムサ 上場取引所 東
 コード番号 2876 URL http://jc-comsa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)和田 隆介
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役CFO (氏名)今井 福三 (TEL) 03(5722)7261
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 8,163 | △2.2 | 403 | 29.0 | 328 | 29.0 | 163 | 64.6 |
| 27年3月期第2四半期 | 8,347 | 0.5 | 312 | △24.6 | 254 | △36.5 | 99 | △49.5 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 152百万円 (36.7%) 27年3月期第2四半期 111百万円 (△43.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 17.93 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 12.09 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 8,952 | 3,858 | 43.1 |
| 27年3月期 | 8,941 | 3,796 | 42.5 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,858百万円 27年3月期 3,796百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 17,430 | 2.5 | 680 | 3.0 | 670 | 12.0 | 330 | 71.8 | 36.24 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期2Q | 9,105,290株 | 27年3月期 | 9,105,290株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 91株 | 27年3月期 | 91株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期2Q | 9,105,199株 | 27年3月期2Q | 8,205,892株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済政策や金融政策などに支えられ、個人消費、住宅投資、企業による設備投資といった民間需要の回復が見込まれるなど、景気持ち直しに向けた動きが見られる一方で、中国の景気減速懸念を端緒とした世界同時株安による海外経済の減速も背景に、経済環境は不透明な状況が続いております。

食料品・外食業界におきましては、雇用・所得環境の改善を契機とした消費者マインドの持ち直しや訪日外国人観光客によるインバウンド消費の増加も受けて、一定の消費回復傾向が見られるものの、円安などにより原材料価格が高水準にある中で、依然として厳しい市場環境が続いております。

このような状況下で、当社グループは経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,163百万円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益は403百万円（同29.0%増）、経常利益は328百万円（同29.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163百万円（同64.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①食料品事業

『デルソーレ小麦ごはん』という提案型商品戦略を展開し、全国各地のスーパー店頭でのキャラバン隊によるマーケティング活動の強化などによって、ブランド認知度を一層高めるプロモーション施策に取り組むとともに、各業態別の拡販に向けた戦略的な営業活動ならびに主力製品であるイタリアンピザシリーズでの新製品投入をはじめとしたマーチャンダイズ戦略によって、着実に売上及び利益を確保してまいりました。

また、生産部門におきましては適正な製品供給を確保するために柔軟な生産体制をもって対応し、高品質で安全・安心なシステムづくりに取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間では、売上高は5,815百万円（前年同四半期比2.1%減）、デルソーレブランディング効果の浸透などによりセグメント利益は683百万円（同12.8%増）となりました。

②外食事業

外食事業におきましては、7月に焼鳥・炙り焼きを提供する「をどり」3号店となる「をどり」お台場アクアシティ店、9月にピザ・パスタ&ワインの「PANE&VINO」大崎ブライトコア店をオープンしました。両店舗とも想定を上回る売上を獲得できており、今後は利益面でも貢献を見込んでおります。

前年に対し総店舗数が減少していることもありますが、不採算店舗整理の効果もあり、当第2四半期連結累計期間では、売上高は2,357百万円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益は62百万円（同423.5%増）となりました。

③事業開発事業

当社の中長期の事業戦略の中で、事業開発本部の体制の整備を図ったこと等を踏まえ、報告セグメントにつきまして、第1四半期連結会計期間より、従来の「海外事業」から、既存の海外事業に加えて国内外で事業化を検討している新規事業も含めた「事業開発事業」に変更しております。

海外事業におきましてはインドネシアにおいてPT INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR TBKとの合弁で設立したPT INDOFOOD COMSA SUKSES MAKMUR が「POPOLAMAMA」ブランドのもと、ジャカルタ市内に生パスタと当社クラストをベースとしたピザをメインに提供するカジュアルなイタリアンレストランを営業しております。本年5月末に開店した4号店は、ジャカルタ市南部のイオン株式会社が初めてインドネシアで開業した大型ショッピングモールの一階に位置し、週末を中心に多くのお客様をお迎えしております。

当第2四半期連結累計期間では、合弁会社の管理諸経費の計上などにより、セグメント損失は113百万円（前年同四半期はセグメント損失101百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ11百万円増加し、8,952百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少があった一方で、受取手形及び売掛金や有形固定資産の増加があったこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ50百万円減少し、5,094百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少があったこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ61百万円増加し、3,858百万円となりました。これは主に、利益剰余金の配当金の支払による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加があったこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前年同四半期末と比べ480百万円増加し、1,318百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として法人税等の支払額の増加などによる資金の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や仕入債務の増加などによる資金の増加があり、前年同四半期に比べ122百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として固定資産の取得による支出や関係会社株式の取得による支出が減少したことにより、前年同四半期に比べ165百万円の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として短期借入金の返済による支出の増加により、前年同四半期に比べ373百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、現時点では平成27年5月11日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,682,152 | 1,318,167 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,314,569 | 2,459,378 |
| 商品及び製品 | 429,115 | 468,229 |
| 原材料及び貯蔵品 | 271,674 | 346,601 |
| その他 | 254,748 | 275,794 |
| 貸倒引当金 | △3,291 | △3,202 |
| 流動資産合計 | 4,948,969 | 4,864,969 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,083,345 | 4,279,783 |
| 減価償却累計額 | △3,044,109 | △3,109,540 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,039,236 | 1,170,242 |
| その他 | 3,440,534 | 3,515,300 |
| 減価償却累計額 | △2,308,767 | △2,348,630 |
| その他(純額) | 1,131,767 | 1,166,669 |
| 有形固定資産合計 | 2,171,004 | 2,336,912 |
| 無形固定資産 | 261,151 | 252,595 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,575,124 | 1,512,471 |
| 貸倒引当金 | △15,027 | △14,307 |
| 投資その他の資産合計 | 1,560,097 | 1,498,164 |
| 固定資産合計 | 3,992,253 | 4,087,672 |
| 資産合計 | 8,941,222 | 8,952,642 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,454,861 | 1,571,107 |
| 短期借入金 | 627,500 | 296,000 |
| 未払法人税等 | 162,603 | 175,071 |
| 賞与引当金 | 131,300 | 95,708 |
| 資産除去債務 | 1,890 | — |
| その他 | 707,621 | 766,019 |
| 流動負債合計 | 3,085,776 | 2,903,906 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 610,000 | 699,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 330,572 | 345,617 |
| 退職給付に係る負債 | 438,067 | 426,836 |
| 資産除去債務 | 630,457 | 671,877 |
| その他 | 49,912 | 47,170 |
| 固定負債合計 | 2,059,009 | 2,190,502 |
| 負債合計 | 5,144,786 | 5,094,408 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 922,939 | 922,939 |
| 資本剰余金 | 1,259,205 | 1,259,205 |
| 利益剰余金 | 1,576,145 | 1,648,367 |
| 自己株式 | △1 | △1 |
| 株主資本合計 | 3,758,289 | 3,830,511 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,858 | 17,733 |
| 繰延ヘッジ損益 | 212 | — |
| 為替換算調整勘定 | 19,076 | 10,138 |
| 退職給付に係る調整累計額 | — | △150 |
| その他の包括利益累計額合計 | 38,147 | 27,722 |
| 純資産合計 | 3,796,436 | 3,858,233 |
| 負債純資産合計 | 8,941,222 | 8,952,642 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 8,347,382 | 8,163,176 |
| 売上原価 | 5,136,297 | 4,923,974 |
| 売上総利益 | 3,211,085 | 3,239,201 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び福利費 | 1,162,197 | 1,117,571 |
| 賞与引当金繰入額 | 64,755 | 68,952 |
| 退職給付費用 | 22,059 | 18,368 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 15,345 | 15,045 |
| その他 | 1,633,961 | 1,615,930 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,898,318 | 2,835,867 |
| 営業利益 | 312,766 | 403,333 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 53 | 93 |
| 受取配当金 | 4,606 | 2,181 |
| 受取賃貸料 | 2,958 | 3,151 |
| 受取補償金 | — | 2,890 |
| 貸倒引当金戻入額 | 100 | 120 |
| その他 | 3,321 | 5,642 |
| 営業外収益合計 | 11,039 | 14,078 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,315 | 5,275 |
| 持分法による投資損失 | 55,283 | 79,289 |
| その他 | 6,384 | 4,229 |
| 営業外費用合計 | 68,983 | 88,793 |
| 経常利益 | 254,822 | 328,618 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 119 | 277 |
| 特別利益合計 | 119 | 277 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 23,409 | 4,500 |
| その他 | 2,976 | 19 |
| 特別損失合計 | 26,385 | 4,520 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 228,556 | 324,375 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 115,504 | 143,686 |
| 法人税等調整額 | 13,828 | 17,415 |
| 法人税等合計 | 129,333 | 161,101 |
| 四半期純利益 | 99,223 | 163,273 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 99,223 | 163,273 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 99,223 | 163,273 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,552 | △1,124 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,642 | △212 |
| 為替換算調整勘定 | 801 | △76 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 4,586 | △9,011 |
| その他の包括利益合計 | 12,582 | △10,424 |
| 四半期包括利益 | 111,805 | 152,849 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 111,805 | 152,849 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | (単位：千円) | |
|-------------------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 228,556 | 324,375 |
| 減価償却費 | 134,892 | 151,769 |
| 減損損失 | 23,409 | 4,500 |
| のれん償却額 | 5,371 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 1,703 | △808 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 694 | △11,230 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 12,045 | 15,045 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △39,602 | △35,592 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,660 | △2,274 |
| 支払利息 | 7,315 | 5,275 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 55,283 | 79,289 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △119 | △277 |
| 受取補償金 | — | △2,890 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △242,866 | △144,808 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △96,442 | △114,041 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 13,557 | 177,289 |
| その他 | △1,050 | △170,640 |
| 小計 | 98,089 | 274,980 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,660 | 2,276 |
| 利息の支払額 | △7,394 | △5,019 |
| 補償金の受取額 | — | 58,401 |
| 法人税等の支払額 | △25,199 | △138,414 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 70,156 | 192,223 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △216,680 | △180,078 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 220 | 277 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △84,520 | △8,987 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △83,968 | △18,926 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △14,430 | △27,137 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 17,744 | 14,230 |
| その他 | △7,102 | △2,242 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △388,737 | △222,863 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 100,000 | △300,000 |
| 長期借入れによる収入 | 300,000 | 250,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △274,750 | △192,500 |
| 自己株式の増減額(△は増加) | △373 | — |
| 配当金の支払額 | △79,977 | △88,664 |
| その他 | △4,614 | △2,103 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 40,283 | △333,267 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 801 | △76 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △277,495 | △363,984 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,115,578 | 1,682,152 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 838,082 | 1,318,167 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|----------|-----------|
| | 食料品事業 | 外食事業 | 事業開発事業 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,931,723 | 2,415,594 | 65 | 8,347,382 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 11,444 | — | — | 11,444 |
| 計 | 5,943,167 | 2,415,594 | 65 | 8,358,827 |
| セグメント利益又は損失(△) | 605,672 | 11,857 | △101,614 | 515,915 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------------|----------|
| 報告セグメント計 | 515,915 |
| 全社費用(注) | △287,475 |
| 棚卸資産の調整額 | 116 |
| 四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益 | 228,556 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|----------|-----------|
| | 食料品事業 | 外食事業 | 事業開発事業 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,805,509 | 2,357,268 | 399 | 8,163,176 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 10,419 | — | — | 10,419 |
| 計 | 5,815,928 | 2,357,268 | 399 | 8,173,595 |
| セグメント利益又は損失(△) | 683,071 | 62,075 | △113,417 | 631,729 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------------|----------|
| 報告セグメント計 | 631,729 |
| 全社費用(注) | △307,192 |
| 棚卸資産の調整額 | △161 |
| 四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益 | 324,375 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。当社の中長期の事業戦略の中で、事業開発本部の体制の整備を図ったこと等を踏まえ、従来の報告セグメントである「海外事業」の呼称を「事業開発事業」に変更しております。「事業開発事業」には、既存の海外事業に加えて国内外で事業化を検討している新規事業も含めております。このセグメント変更によるセグメント情報に与える影響はありません。